

はたちの献血をお願いします

厚生労働省、都道府県及び日本赤十字社は、献血者が減少しがちな冬期において血液製剤の安定供給を確保するため、「はたちの献血」キャンペーンを毎年1月と2月の2か月間実施しています。

本キャンペーンでは、新たに成人を迎える「はたち」の若者を中心に、広く国民各層に向けて献血の重要性を普及啓発するとともに、献血への協力を呼びかけています。

2026年キャッチフレーズ

「誰かの今をつないでく。はたちの献血」

献血は身近でできる大きな社会貢献です。

この機会に献血に行ってみませんか？

献血施設のご案内

全国各地の献血施設や献血バスで献血にご協力いただけますのでご協力をお願いいたします。

秋田県では2カ所の献血施設と県内各所の献血バスで献血の受付をしております。

☆各地域の血液センターや献血バス運行スケジュール、その他献血事業等については、

以下のQRコード(二次元バーコード)からHPにアクセスして詳細をご確認下さい。

■秋田赤十字血液センター



■全国の血液センター検索



■厚労省献血事業



【秋田県内献血施設】

秋田赤十字血液センター1階『献血パーク るうぶ』

全血献血 9:00~12:00・13:00~16:00

成分献血 9:00~11:00・13:00~15:00

定休日 毎週火曜日・土曜日、年末年始

〒010-0941 秋田市川尻町字大川反233-186 TEL: 018-865-5541

フリーダイヤル: 0120-417-475 (9:00~17:00) ※土曜日除く



アトリオン1階『アトリオン献血ルーム』

全血献血 10:00~13:00・14:00~17:00

成分献血 10:00~12:00・14:00~16:00

定休日 年末年始、アトリオンビル休館日

〒010-0001 秋田市中通二丁目3-8 (アトリオン1階) TEL: 018-836-7811

フリーダイヤル 0120-367-211 (9:30~17:30)

献血基準^{※1}

項目	献血の種類		全血献血		成分献血					
	200mL献血	400mL献血	血漿成分献血	血小板成分献血						
1回献血量	200mL	400mL	600mL以下(循環血液量の12%以内)							
年齢	16歳～ ^{※2} 69歳	男性17歳～69歳 女性18歳～69歳	^{※2} 18歳～69歳	男性18歳～69歳 女性18歳～54歳						
体重	男性45kg以上 女性40kg以上	男女とも50kg以上	男性45kg以上 女性40kg以上							
最高血圧	90mmHg以上 180mmHg未満									
最低血圧	50mmHg以上 110mmHg未満									
脈拍	40回/分以上 100回/分以下									
体温	37.5℃未満									
血色素量 (ヘモグロビン濃度)	男性 12.5g/dL以上 女性 12.0g/dL以上	男性 13.0g/dL以上 女性 12.5g/dL以上	12.0g/dL以上 (赤血球指数が標準域にある女性は11.5g/dL以上)	12.0g/dL以上						
血小板数	――	――	――	15万/μL以上 60万/μL以下						
年間献血回数 ^{※3※4}	男性6回以内 女性4回以内	男性3回以内 女性2回以内	血小板成分献血1回を2回分に換算して 血漿成分献血と合計で24回以内							
年間総献血量 ^{※3※4}	200mL献血と400mL献血を合わせて 男性1,200mL以内、女性800mL以内		――	――						
共通事項	次の方からは採血しない ①妊娠していると認められる方、又は過去6ヶ月以内に妊娠していたと認められる方 ②採血により悪化するおそれのある循環器系疾患、血液疾患、その他の疾患にかかっていると認められる方 ③有熱者その他健康状態が不良であると認められる方									

※1 採血基準は、献血にご協力いただける方の健康を保護するために、国が定めたもので、採血の実施は、医師が問診結果等を踏まえて総合的に判断します。

※2 65歳から69歳までの方は、60歳から64歳までに献血の経験がある方に限られます。

※3 期間の計算は採血を行った日から起算します。

※4 1年は52週として換算します。

献血の間隔^{※5}

前回の献血	今回の献血		全血献血		成分献血	
	200mL献血	400mL献血	血漿成分献血	血小板成分献血		
200mL献血			男女とも4週間後の同じ曜日から			
400mL献血	男性は12週間後、 女性は16週間後の同じ曜日から		男女とも8週間後の同じ曜日から			
血漿成分献血						
血小板成分献血			男女とも2週間後の同じ曜日から ^{※6}			

※5 期間の計算は献血を行った日から起算します。

※6 血漿を含まない場合には、1週間後に血小板成分献血が可能になります。ただし、4週間に4回実施した場合には次回までに4週間以上あけてください。

問合せ先：由利本荘市 健康福祉部 健康づくり課（本荘保健センター内）

T E L : (0184) 22-1834